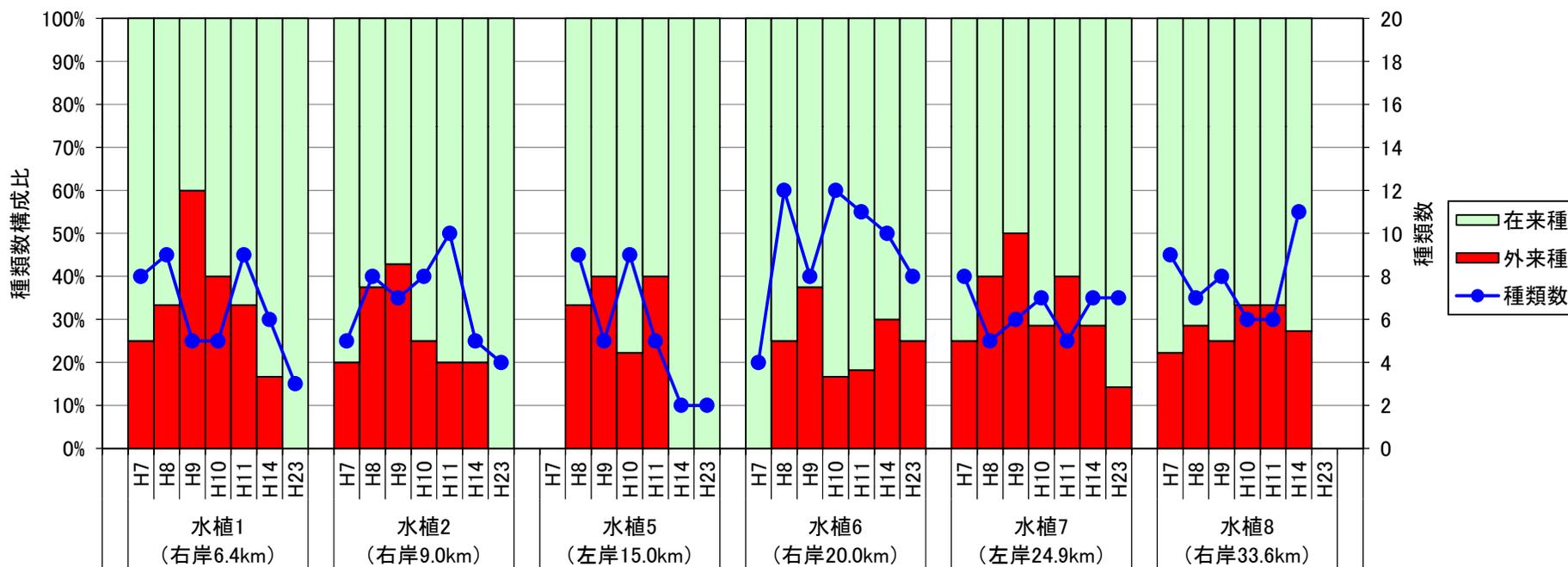


生物の生息・生育状況の変化の評価【植物】

■水生植物調査における種類数の経年変化

- 上流側の地点を除き、種類数は平成10～11年度頃から減少傾向が見られる。
- 種類数の減少は、平均水深が1m以上となっている地点や、河畔林により日当たりが悪い地点、濁りのある地点で見られた。

(平成7年7月本格運用開始)



注)平成7年度の水植5、平成23年度の水植8では調査を実施していない。